

## あけましておめでとうございます

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2025年はへび年です。へびは脱皮を繰り返して成長していくことから、再生と復活を連想させる縁起の良い生き物とされています。

皆様にとってさらなる成長と飛躍の1年となるようお祈り申し上げます。

### 2024年の夏を振り返ると・・・

冬が進むにつれて、暑かった夏のことを忘れつつありますが、2024年は酷暑の夏でした。下の表は2024年に最高気温が30℃以上さらに35℃以上の日数をまとめたデータです。過去30年を平均した平年データでは35℃を超える日はありませんでした。また、北海道や東北でも30℃以上になる日が多くあり、日本全域で暑さが増しております。

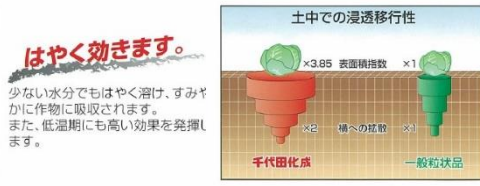
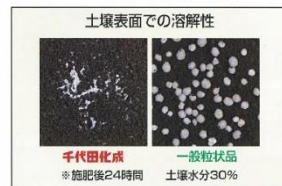
地域	最高気温の日数				各地域の最高気温と地点
	30℃以上		35℃以上		
	2024年	平年	2024年	平年	
北海道	19日	0日	0日	0日	札幌 34.7℃ 7月21、22日
東北	58日	0日	0日	0日	山形 37.0℃ 8月23日
関東	83日	45日	19日	0日	甲府 39.4℃ 7月22日
北陸	77日	42日	12日	0日	富山 39.4℃ 8月23日
東海	85日	62日	39日	0日	静岡 40.0℃ 7月7日
近畿	87日	66日	39日	0日	彦根 39.4℃ 7月29日
中国	85日	60日	42日	0日	鳥取 39.4℃ 8月22日
九州	88日	67日	39日	0日	熊本 38.8℃ 8月4日
沖縄	124日	101日	0日	0日	那覇 36.0℃ 7月19日

想定外の夏の暑さです。元肥一発肥料を使っている田んぼでも、生育後期の肥効が不足する場面が多く発生しております。2025年の夏も暑くなる予想です。状況に応じて追肥をすることが安定した収量に結びつきます。

気象庁集計対象地点  
 北海道 札幌  
 東北 青森・秋田・盛岡・山形・仙台・若松  
 関東 宇都宮・さいたま・水戸・千葉・東京・前橋・甲府・横浜・長野  
 北陸 新潟・富山・金沢・福井  
 東海 静岡・岐阜・名古屋・津  
 近畿 彦根・京都・奈良・大阪・和歌山  
 中国 鳥取・岡山・松江・広島・山口  
 九州 福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島  
 沖縄 那覇

# 極寒の冬と酷暑の夏にも千代田化成

日本の春夏秋冬、近年は春夏秋冬と感ずるようになってきました。気候の変化は作物の生育にも影響しますので、効かせたいときに効かすことができる千代田化成をタイミング良く施用することが健全な生育に役立ちます。



**拡散性に優れています。**  
 千代田化成の肥料成分は、広い根域まで浸透するため、他の肥料と比べて肥料のムラが出にくく、また肥料ヤケを起こしにくい肥料です。横方向への拡散は、他の肥料と比べると面積で約4倍広がりです。

低温で根の働きが鈍くても効率良く吸収！  
 夏場の旺盛な生育に対しても素早く栄養供給！  
 液肥にして灌水同時、または、流し込みのらくらく施肥で作業性向上！

### 持続可能な農業のために

世界的な問題となっているマイクロプラスチックによる海洋汚染。今はまだと2050年の海は魚よりもゴミが多くなるとの予想もあります。樹脂コーティング肥料の被膜も原因の一つです。

樹脂を使っていない硫黄被覆肥料やホルム窒素を配合した元肥一発型肥料は、土壌中の微生物によって分解される環境保全型肥料ですので、美しい海を守り続けることに貢献いたします。

#### 硫黄被覆肥料

被膜の主成分は硫黄です。  
 溶出後は土壌中で分解されて作物の養分になります。  
 ☆マイクロプラスチック問題対応肥料です。

#### ホルム窒素

尿素を化学反応させた化学緩効性窒素肥料です。土壌微生物により徐々に分解されることで肥効が発現します。  
 ☆マイクロプラスチック問題対応肥料です。

当社は千代田化成をはじめ、硫黄被覆肥料、ホルム窒素など特長のある様々な資材を活かして、農産物の安定生産と持続可能な農業に貢献してまいります。本年もお力添えを賜りますよう、宜しくお祈り申し上げます。